

【町長】

通告順	1	質問議員	高田議員
質問項目	「加工用トマト生産日本一」を目指して		
質問内容	<p>町では「目指せ！加工用トマト生産日本一のまち！」を合い言葉に、家庭菜園でもトマト栽培を促す施策を、コーミ北のほたるファクトリー(株)との協働事業で展開しています。</p> <p>令和4年度は天候にも恵まれ、398トンの収穫(受入)があったと承知しています。しかしながら、工場のトマト処理能力には限界があり約40トン程度をコーミ(株)に輸送したと伺いました。</p> <p>「加工用トマト生産日本一のまち」を現実のものとし、町内で生産されたトマトにもっと付加価値を付けて町外に出す方法を模索すべきだと考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 今後も処理能力を超えた分は原材料としての売却を続けるのか。 2, トマトの増産に対応して工場の処理能力をアップさせる設備投資の計画はあるのか。 3, トマトを短期間冷却貯蔵して、可能な限り町内で処理する方法を模索(実験)してはどうか。 		

資料 1



目指せ！
加工用トマト
生産日本一のまち！

コーミ北のほたるファクトリー(株) 協働事業

家庭菜園で北のほたる完熟
トマトジュースに使用する
加工用トマト

なつのしゅん

を栽培しませんか？

令和5年度作付けいただける
町民の方を募集いたします！

お問い合わせ先 沼田町農業推進課

0164-35-2114

苗立不要！

苗はコーミ北のほたるファクトリー(株)で用意します！

トマトは原料として1kg 40円
(税込)で買い入れ致します！

1本の株から概ね4kgから6kgほど
収穫できます。多い人は10kg
以上採れる方もいます！

栽培にはハウス・支柱などは必要
ありません。平畝で露地栽培
できます。

収穫したトマトは畑まで取りに伺
います。
収穫用コンテナはお貸しいたしま
す。

沼田町特産品
完熟トマトシリーズ



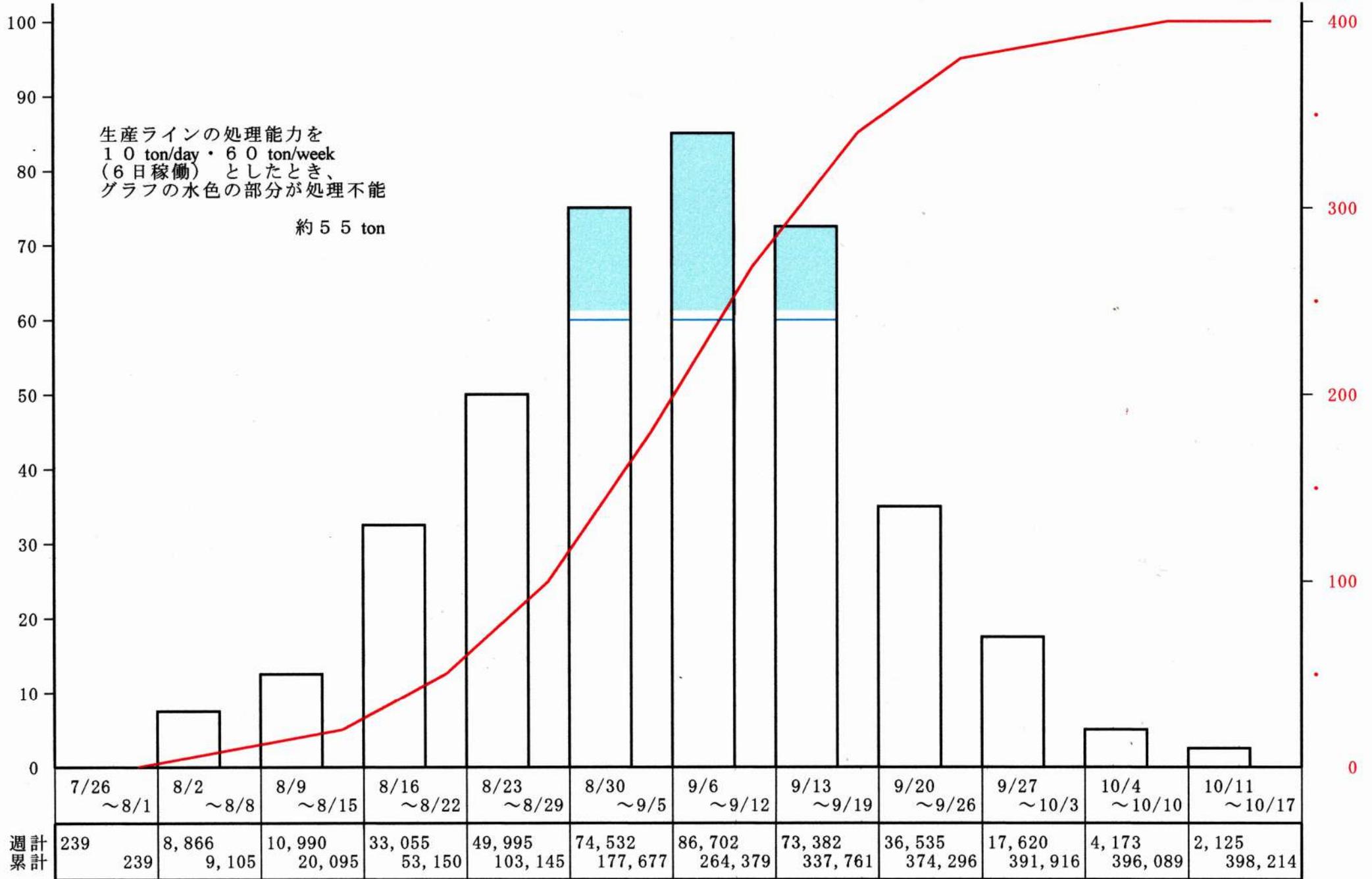
随時募集中！

令和4年度加工用トマト受入実績(週計単位)

資料 2

受入週計 ton

受入累計 ton



【町長】

通告順	2	質問 議員	高田議員
質問 項目	協力隊への「支援業務委託料」は何に使われるのか		
質問 内容	<p>新年度予算で「地域おこし協力隊支援業務委託料」として1,440万円が計上されています。2月25日付けの北海道新聞の記事によると、協力隊員は新年度から委託先の会社に所属して活動を続けるという内容でした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 委託先の会社に所属(就職)するのであれば、協力隊員ではなくなるのではないかと。 2, 1,440万円は従事する人の人件費と推察するが、任期を残した隊員もいると思います。協力隊員の身分のまま町から派遣は出来ないのか。 3, 従事する人を3人とすると、480万円/人になります。積算はどのように行ったのか。 4, 財源を聞くと一般財源のようですが、企業版ふるさと納税で自然学校に寄せられた寄付が数百万円あります。寄付の総額はいくらなのか。寄付を財源に充てなかった理由は何か。 5, 新目を起こし「そらち自然学校費」として管理するべきではないのか。「地域おこし協力隊活動費」の中に含めた理由は何か。 6, 令和4年第2回定例会で自然学校に関する一般質問をしました。それによると、人件費を含む年間経費は2,700万円程との答弁がありました。半分以上が町の持ち出しとなりますが町長の見解を伺う。また、町の持ち出しが無くなるのは何年後か。 7, 「稼ぐ力」は付いているのか。「儲かる施設」になれるのか。 		

沼田町は10.1%減51億円

町長選控え継続事業中心

【沼田】町は24日、20

23年度予算案を発表した。一般会計は22年度当初比10.1%減の51億円。4月に町長選を控え継続事業が中心の骨格予算に加え、町営の「ASHIMOIKANKO 高穂スキー場」の整備を終えたことなどが減少要因となった。

JR留萌線石狩沼田―留萌間が3月末で廃止になるのに伴い、代替交通のタクシー利用に対する助成事業に140万円、早朝と夕方で計3便を増やす町営バス事業全体に1340万円を

充てた。

暮らしの安全センター周辺に建築中の高齢者住宅「あるくらす団地」の周辺整備事業に2480万円、4月に開校する「そらち自

然学校」の運営団体に移って活動する地域おこし協力隊への支援として1440万円を計上した。

国民健康保険など7特別会計を合わせた総額は同5.6%減の71億5900万円となった。

歳入は、町税が同2.3増の3億1800万円、地方交付税は同3.4%増の24億3500万円を見込んだ。各基金からの繰入金は同8.2%減の6億5千万円で、財源不足を補うため財政調整基金から1億5千万円を繰り入れた。

(佐藤大吾)



ガイドの案内で森の観察

問 ほろしん自然学校は稼げる施設になるのか
答 活動が安定するまでは支援をしたい



高田 勲
議員

問 現在幌新地区で来春の開設に向けて準備が進められている自然学校は、交流人口を掘り起こし関係

人口を増やす上で有効な取組だと思う。

しかし、周辺施設とどう連動させ儲かる仕組みにするのか、第2回定例会まで説明がなかった。年間通じた事業やイベントのスケジュール、集客方法を聞いた。

2点目に、年間どれだけの利用と収入を見込んでいるのか。併せて、施設の指定管理料と運営体制、人件費を含む年間経費はどれくらいか。

3点目に、指定管理にはどの段階で移行するのか。



まず、概要説明が遅れたことをお詫びします。

自然体験の提供は、児童対象のワンデーイベントやノマドワーカーが開催するイベント、ほたる館やキャンプ場宿泊者への自然ガイドを予定しています。

集客は、町内向けにはチ

ラシ配布、町外にはSNSとホームページの他、ほたる館宿泊時に体験プログラムを予約できる仕組みを調整したいと思います。

自然学校の支出は、人件費や一般管理費で2700万円程度見込んでいます。収入は、寄附、助成金、イベント参加料、物品販売、ムービングハウス宿泊料の他、ほたる飼育や社会教育事業の受託で2600万円程度見込んでいます。収入が不足する部分は、活動継続によって収入が安定増加する見込みですが、数字に表れない波及効果もあるので、支援をしたいと考えます。

ほたる学習館の指定管理については、自然学校運営開始の令和5年4月を想定しています。